

「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」の 募集を開始します

地域づくりを担う人材育成と若者の地域への定着を推進するため、若者の柔軟なアイデアの提案・実践による地域課題の解決や、新たな商品やサービス等を開発する小規模ビジネスの実現に対して支援する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」の参加者を募集します。

1 日時

令和5年4月28日(金)～5月31日(水)

2 募集対象

岡山市内の大学・短期大学・専門学校及び岡山市と包括的な連携協力に関する協定を締結している岡山市外の大学・短期大学の学生

3 内容

①活動グループ

単一大学等の学生 3 名以上と、当該大学などの教職員を代表者として構成したグループ

②補助金等

1 グループあたりの補助限度額 30 万円(補助率10/10※)

※補助金の交付には審査があります。

③募集グループ数

20グループ程度

4 その他

詳細は添付のリーフレット等を参照、もしくはQRコードから検索



【問い合わせ先】

岡山市政策局政策企画課

直通086-803-1043 内線3584 藤田

★申請方法

ステップ ① 申請したいと思ったら・・・

まずは、先生や事務職員さんに相談してみましょう。このプロジェクトは、大学等の教職員が団体の代表者である必要があります。

アドバイス



- ◇ 第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略を読むことをお勧めします。
- ◇ 事業実施の背景や地域のニーズ等について、できる限り、地域の方や関係する行政機関等の意見を聞くヒントがあるかもしれません。
- ◇ 自分がやりたいことをするのは大事なことです。地域の方の思いも反映されるような取り組みとなるように考えてみてください。

ステップ ② 申請書を書いてみよう！

このプロジェクトに係る要綱及び申請書等は、右のQRコードからダウンロードできます。(検索:学生イノベーションチャレンジ)



ステップ ③ 困ったら相談しよう！

募集期間中は、随時、相談を受け付けます。**活動内容やコラボする相手など**、お困りの点について、ご相談ください。

なお、相談にあたっては、下記問い合わせ先まで**メール**でご連絡ください。

ステップ ④ 申請しよう！

申請から実績報告までのスケジュール(期間内に申請書類を提出してください。)

申請	募集期間	令和5年4月28日(金)～5月31日(水) ※郵送の場合は同日必着、持参の場合は午後5時必着
	提出方法	下記問い合わせ先へ 郵送又は持参 にて提出 申請に必要な提出物は5部(参考資料がある場合はそれらも5部) ※メール、FAX等での提出は受付できません。
活動	補助金交付決定	6月上旬から随時審査して決定
	活動期間	補助金決定(6月上旬)～活動報告会(2月中旬)予定 (SNS等を活用した情報発信にも積極的に取り組んでください)
報告	報告会	中間報告:10月下旬 活動報告会:翌年2月中旬 ※活動報告会では、優良事例の表彰も併せて行います。
	実績報告書の提出	翌年2月末

【問い合わせ先】

岡山市政策局政策企画課(学生イノベーションチャレンジ推進事業担当)
TEL 086-803-1043/FAX 086-803-1732(※土・日曜、祝日を除く 8:30~17:15)
Mail:seisakukikaku@city.okayama.lg.jp

学生の皆さん

あなたの力が地域を変える！

キャリアアップに役立つ絶好の機会です



<本事業への寄附企業>

ミナミホールディングス(株) メタコート工業(株) (株)RUNWAYS
長瀬産業(株) (株)東光 住友生命保険相互会社 他

※国の地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を通じて、令和4年度に寄附をいただきました。

★「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」とは

学生の皆さんは地域に活力をもたらす大切な存在です。
市では地域づくりの次世代を担う人材が地域に生き残り、活躍するまちづくりを進めています。その1つとして、現在大学生等が企業や地域、NPO等とコラボレーションして、若者ならではの柔軟なアイデアの提案や実践によって地域課題を解決する活動をサポートしています。大学等で学んだスキルを活用して小規模ビジネスの実現につながる活動に対し、補助金を交付して支援する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」を実施します。ぜひ、チャレンジしてみませんか。

★対象団体・活動コース

<対象団体> 岡山市内の大学・短期大学・専門学校及び岡山市と包括的な連携協力に関する協定を締結している岡山市外の大学・短期大学の、教職員を代表者とした学生3名以上で構成されている団体・グループ

活動コース	ソーシャルビジネスチャレンジ	スモールビジネスチャレンジ
概要	行政機関、企業、NPO及び地域団体等とコラボ(協働)し、岡山市内及び岡山市外(※1)における地域課題の解決や地域活性化を図る事業	収入計画を策定した上で、新たな商品やサービス等の開発、販売等の小規模ビジネスの実現を目指す事業

- (※1) 岡山市以外での活動について
- ・岡山市内での活動だけでなく、別紙「岡山市以外(岡山連携中枢都市圏)での地域課題一覧」に掲載している活動についても対象とします。
 - ・岡山連携中枢都市圏とは、岡山市と社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村(8市5町)とで形成する都市圏のことであり、本事業の対象は、「備前市」「真庭市」「久米南町」「吉備中央町」です。

★先輩のイノベーションチャレンジの例



- ① 特産を生かしたパンの販売を通して岡山市の魅力の再発見と地域を盛り上げる活動
(ノートルダム清心女子大学)



- ② 造山古墳のボランティアガイドとして地域を活性化
(専門学校ビーマックス)

- ③ グランドゴルフを通して地域の方と交流活動
(岡山理科大学)



第1回RHMグラウンドゴルフ交流大会

★補助金額・採択件数

上限 **30万円**(補助率 10/10以内)

採択件数 **20件**程度



廃棄予定デニムを活用した知育玩具の開発Jean's

★補助金の対象経費

補助金は活動後に大学、短期大学、専門学校に交付します。

★審査基準

下記の審査基準に基づいて申請書類を採点し、審査を行います。

審査項目	審査基準	ソーシャル	スモール
活動のニーズ	活動の目的が、対象地域にとって必要性・重要性の高いものか。	必須	必須
効果	目的に対する効果が期待できる活動内容となっているか。	必須	必須
協働の深さ	学生と地域の双方が主体的に活動に関わることが出来るか。協働を通じた相乗効果が発揮されているか。	必須	加点
モデル性・将来性	学生と地域の連携モデルとして、他地域へ参考となる活動か。活動内容の深化や拡大、発展などが期待できるか。	必須	必須
アイデア・チャレンジ性	独創性やチャレンジ性のある活動か。	必須	必須
収支予算の適切さ	適切な収入・経費で予算を立てているか。	必須	必須
財源の獲得	事業に必要な財源について、補助金以外の獲得手段を計画しているか。	加点	必須

★参加した先輩や先生からのメッセージ

～先輩から～

- 普段、なかなか交流できない年齢層の方と広く交流できたことは、自分の考え方や世界を広げることにつながり、大変充実した活動でした。
- 本プロジェクトの各グループが一堂に会して活動報告会をした際に、他のグループのさまざまな取り組みや発表の仕方に大いに刺激を受け、自分たちの活動への見直しや新たな意欲につながった。
- 岡山には地域に根ざしたさまざまな企業者の方があり、地域経済を支えていることを実感した。
- 地域の人たちが活動に協力してくださり、とてもあたたかく活動を見守ってくれた。私自身の生まれ育った地域の人々と密に関わる仕事を通じて、地域の活性化や発展に貢献したいと考えるようになり、就職活動でも中小企業支援をおこなう団体を希望し、無事内定をいただけた。
- 最初から失敗や成功にとらわれず、とにかく皆さんのアイデアや意見を出すことが大切。この地域活動を通じて、企画と実行計画の重要性を学びました。

～先生から～

- フィールドワークや実体験、企業との協働作業により、通常の大学の授業では学べないことが多く深く感謝しています。
- 学生たちが地域に新たなイノベーションを起こそうと同じ目標に向かい切磋琢磨しながら課題解決を行うことで大きな学びと成長、自信、そして掛け替えのない思い出につながっています。
- 地域のために何かしたい、貢献できることはないかと考えている学生は少なくありません。こうした学生の郷土を盛り上げたい、応援したい気持ちを、イノベーションチャレンジ事業への参加が大きく後押ししてくれています。
- プロジェクトに参加することで、より積極的に仲間と行動し、地域の方と関わることで、人として成長している様子がかうかがわれます。
- 学生も教員も取り組みは大変ですが、地域や地域の方々とながらることのできるとてもよい機会だと考えています。

岡山市以外(岡山連携中枢都市圏)での地域課題一覧

別紙

岡山市が連携する市や町でも、下記の課題があります。
皆さんだったらどのように解決しますか。

地域	活動範囲	地域課題
久米南町 (施設PR)	主な活動は 久米南町内	「久米南美しい森」では、キャンプ場以外にも宿泊施設のビジターセンターと野外音楽堂があるが、ビジターセンターと野外音楽堂では利用者が少なく、特に野外音楽堂では利用者がいない状態のため、利用者を増やしたい。
吉備中央町 (観光PR)	主な活動は 吉備中央町内	豊かな自然から生まれる食材やアクティビティを活かした滞在型観光を推進しつつ、新たな観光資源の発掘に取り組んでいるが、県内の主要観光スポットと比較すると、集客力が弱いことは否めない。そのため、自転車を活用した「サイクルプロジェクト」を推進しており、このプロジェクトが県内外で注目されるためのコンテンツのアイデアが欲しい。
備前市 (施策PR)	主な活動は 備前市	結婚、出産、育児、教育のそれぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組んでいる強みがあるが、この情報の認知度が市内外問わず低いため、認知度を上げたい。

※必要に応じて、NPOや地域団体等とのコラボや、活動地域でのサポートを行います。

参考資料：第2期岡山連携中枢都市圏ビジョン



令和4年度 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト事業一覧

	大学等	コース	事業名	団体名
1	中国学園大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	YouTubeを活用して多言語での岡山市と周辺地域の魅力発信	国際教養学部 佐々木ゼミ(地域課題解決研究ゼミ)
2	ノートルダム清心女子大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	坪田譲治が伝えた豊かな心から見る福祉の探求と発信ーSDGsの視点からあらゆる人が共生する未来へー	ツボジョーワールド探検隊
3	ノートルダム清心女子大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	若者視点による岡山市の魅力発信とプロモーション活動の推進・おかやまさん朝ごはん	おかやま朝ごはん(おかやまさんあさごはん)
4	ノートルダム清心女子大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	世代間交流によるデジタル情報機器利用格差の改善事業	京山活性化プロジェクトチーム
5	ノートルダム清心女子大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	奉還町商店街を拠点とした、学生ネットワーク構築事業	奉還町盛り上げチーム
6	岡山県立大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	表町の魅力発信と木曜市への学生出店による商店街活性化	学生不動産@OMOTECHO(ブランディング・木曜日チーム)
7	岡山県立大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	学生目線での場づくりにより商店街活性化	学生不動産@OMOTECHO(場づくりチーム)
8	岡山理科大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	表町商店街の魅力発信プロジェクト	表町商店街活性化ラボ(情報発信チーム)
9	岡山理科大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	表町商店街「こどもゼミ」の開催	表町商店街活性化ラボ(イベントチーム)
10	学校法人武田学園	ソーシャルビジネスチャレンジ	造山古墳を中核とした岡山活性化プロジェクト	学校法人武田学園専門学校ピーマックス武田学園 専門学校ピーマックス
11	山陽学園大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	池田動物園×ありがとうファーム協働事業化プロジェクト	地域マネジメント学部 SDGs推進チーム
12	環太平洋大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	運動を通じた困窮家庭の支援	経営学部現代経営学科鈴木ゼミ
13	岡山理科大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	児童を対象とした金融リテラシー教育の実施	金融リテラシー教育を考えるラボ(経営学部)
14	岡山理科大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	理大サッカー部地域連携推進事業	岡山理科大学サッカー部
15	岡山大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	岡山食品ロス削減プロジェクト	松井研究室
16	岡山大学	ソーシャルビジネスチャレンジ	地域に根差した防災ゲームづくり:富山地区のケース	地域防災プロジェクトチーム
17	ジョイント	ソーシャルビジネスチャレンジ	空き家活用×商店街活性化	そらいえ (環太平洋大学、岡山大学、岡山商科大学、吉備国際大学、岡山ビジネスカレッジ専門学校)
18	ジョイント	ソーシャルビジネスチャレンジ	岡山市内観光×キャンパスツアーにおける魅力発信	ミライStarz (岡山県立大学、吉備国際大学、おかやまビジネスカレッジ専門学校)
19	ジョイント	ソーシャルビジネスチャレンジ	廃棄予定のデニムを活用した知育玩具の開発	jean's (岡山商科大学、岡山県立大学、岡山ビジネスカレッジ専門学校)
20	ジョイント	スモールビジネスチャレンジ	「偏見を洗い流す」トマト石鹸	石神お嬢 (中国短期大学、川崎医療福祉大学、岡山商科大学)